

業績（2020 年度）

A. 原著論文

1. Hoshikawa K, Naito T, Akutsu S, Saotome M, Maekawa Y, Kawakami J. Impact of CYP3A5 genotype on tolvaptan pharmacokinetics and their relationships with endogenous markers of CYP3A activity and serum sodium level in heart failure patients. *Basic Clin Pharmacol Toxicol* 126(4): 353–363, 2020
2. Ariizumi S, Naito T, Hoshikawa K, Akutsu S, Saotome M, Maekawa Y, Kawakami J. Simple LC-MS/MS method using core-shell ODS microparticles for the simultaneous quantitation of edoxaban and its major metabolites in human plasma. *J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci.* 1146: 122121, 2020
3. Imoto Y, Mino Y, Naito T, Ono T, Kawakami J. Simultaneous determination of itraconazole and its CYP3A4-mediated metabolites including *N*-desalkyl itraconazole in human plasma using liquid chromatography-tandem mass spectrometry and its clinical application. *J Pharm Health Care Sci.* 6: 11, 2020
4. Suzuki K, Naito T, Tanaka H, Yamada Y, Itoh K, Kawakami J. A reversed-phase mode LC-MS/MS method using a polysaccharide chiral selector for simultaneous quantitation of each enantiomer of tramadol and its metabolites in human plasma and evaluation of CYP-mediated stereoselective demethylation. *Ther Drug Monit.* 42(3): 503–511, 2020
5. Yagi T, Naito T, Kato A, Hirao K, Kawakami J. Association between the prothrombin time-international normalized ratio and concomitant use of antibiotics in warfarin users: Focus on type of antibiotic and its susceptibility to *Bacteroides fragilis*. *Ann Pharmacother.* 55(2): 157–164, 2021
6. Imoto Y, Naito T, Miyadera Y, Ono T, Kawakami J. Associations between plasma hydroxylated metabolite of itraconazole and serum creatinine in patients with a hematopoietic or immune-related disorder. *Eur J Clin Pharmacol.* 77(3): 369–379, 2021
7. Suzuki K, Naito T, Tanaka H, Shibata K, Yamada Y, Itoh K, Kawakami J. Impact of CYP2D6 activity and cachexia progression on enantiomeric alteration of plasma tramadol and its demethylated metabolites and their relationships with central nervous system symptoms in head and neck cancer patients. *Basic Clin Pharmacol Toxicol.* 128(3): 472–481, 2021
8. Naito T, Suzuki Y, Shibata K, Kawakami J. Simple liquid chromatography-tandem mass spectrometry method for quantitation of total and free aprepitant and its active *N*-dealkylated metabolites in human plasma. *Ther Drug Monit* 43(3): 422–428, 2021
9. Miura M, Uchida S, Tanaka S, Kamiya C, Katayama N, Hakamata A, Odagiri K, Inui N, Kawakami J, Watanabe H, Namiki N. Verification of a cocktail approach for quantitative drug-drug interaction assessment: a comparative analysis between the results of a single

drug and cocktail drug. *Xenobiotica* (in press, 2020)

10. Shibata K, Naito T, Hirakawa S, Suzuki K, Hosokawa S, Mineta H, Kawakami J. Correlations between serum cetuximab and EGFR-related markers, and skin disorders in head and neck cancer patients. *Cancer Chemother Pharmacol* (in press, 2020)
11. Miura M, Tanaka S, Uchida S, Kamiya C, Katayama N, Hakamata A, Odagiri K, Inui N, Kawakami J, Watanabe H, Namiki N. Prediction of the area under the curve using limited-point blood sampling in a cocktail study to assess multiple CYP activities. *Biol Pharm Bull* (in press, 2021)

B. 論文形式のプロシーディング

1. 鈴木光路, 内藤隆文, 田中達也, 山田康秀, 伊藤邦彦, 川上純一. 頭頸部がん患者におけるトラマドールとその脱メチル代謝物の血中光学異性体濃度に及ぼす CYP2D6 活性および悪液質の影響. *臨床薬理*. 2020;51:S291
2. 望月啓志, 柴田海斗, 内藤隆文, 下山久美子, 小川法良, 川上純一. 関節リウマチ患者における LC-MS/MS 法を用いた血清中トシリズマブ濃度測定法の確立と免疫学的測定法との定量性の比較. *臨床薬理*. 2020;51:S325
3. Tsuchiya F, Funakoshi R, Seki T, Yagi T, Aono H, Kawakami J: Expectations for medical informatics to advance pharmaceutical service and research in hospitals and pharmacies. *Japan Journal of Medical Informatics* 40: 127-128, 2020

C. 総説

1. Naito T, Shibata K, Shida H, Abe K, Kawakami J. Construction of quantitative analysis workflow for determination of serum concentrations of monoclonal antibody drugs aiming to promote therapeutic drug monitoring in clinical practice. *Jpn J Clin Pharmacol Ther*. 51(3): 161–166, 2020. 内藤隆文, 柴田海斗, 志田拓顕, 阿部一樹, 川上純一. 抗体医薬の TDM の普及を志向したヒト血清中濃度測定の実験ワークフローの構築. *臨床薬理*. 51(3): 161–166, 2020
2. 津田重城, 小山弘子, 古閑晃, 村上恭子, 小原拓, 平河威, 堀雄史, 宮崎真. 日本においてワクチンの適正使用の基盤を構築するために. *医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, PMDRS*, 51(11): 591–598, 2020
3. 内藤隆文. 疼痛×肝障害: 肝障害を合併する患者における疼痛治療. 肝障害を合併する患者の薬物療法マネジメント. *肝障害時の薬物療法*. 薬局. 2020;71(13): 3673-3677
4. 川上純一: 令和 2 年度診療報酬改定に見るこれからの薬剤師のあり方とは? (インタビュー記事). *在宅医療のための Clinical@Home* 2020 春号 (2020 年 4 月), p.16-19

5. 青野浩直, 川上純一: 病院フォーミュラリー: フォーミュラリー作成のロードマップ. 調剤と情報 26 (5), 870-875, 2020
6. 川上純一, 吉野孝之, 池田龍二: バイオシミラーの現状と今後. 座談会 (記録), 第一三共株式会社, 2020.5
7. 川上純一: 薬機法等の一部改正. イントロダクション, 薬剤学 80 (5): 258-261, 2020
8. 川上純一: The Story of Hospital Pharmacist File 02 (ネット記事), 2020.6.16, <https://cs-info.com/pharmacist/02/>
9. 川上純一: 令和 2 年度診療報酬改定が示す地域医療連携を通じた薬物治療管理の方向性. 静岡県薬剤師会会報 (静薬 Journal) No. 247 (2020.7): 2-4, 2020
10. 川上純一: 所信は初心 (その 3): 就任のごあいさつ. 日本病院薬剤師会雑誌 (日病薬誌) 56 (8): 856 (2020)
11. 川上純一 (監修): なぜバイオシミラー?, 患者用バイオシミラー説明冊子, ファイザー, 2020.8 作成
12. 青野浩直, 川上純一: 病院フォーミュラリーの考え方とメリット. 臨床医のための循環器診療 No. 33 (2020.10.14), p. 33-36
13. 川上純一: 2022 年に積み残した課題. 2020 年診療報酬改定から読む病院経営, 病院 79 (12): 951, 2020

D. 報告書

症例報告 (Letter)

1. Sakurai A, Wakuda T, Yoshida R, Katoh SY, Yamasue H. Successful discontinuation of oxycodone under pramipexole treatment for restless legs syndrome due to withdrawal. Psychiatry Clin Neurosci. 75(3): 112–113, 2021

E. 記事・寄稿

1. 川上純一: 優先的に安定確保すべき医薬品の選定基準とは: 第 1 回医療用医薬品の安定確保策に関する会議が開催. 日経 DI オンライン, 2020 年 4 月 1 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/trend/202003/564960.html>
2. 川上純一: 次期会長に木平氏再任: 日病薬が郵送投票. 薬事日報 No. 12291, 2020 年 4 月 1 日, p.2
3. 内藤隆文. 冒頭文. JSHP Mail News No.445. 2020 年 4 月 6 日
4. 川上純一: 加算体制確保し病棟業務を 浜松医大・川上薬剤部長、常勤配置の要件緩和で警鐘. 薬事日報 No. 12295, 2020 年 4 月 8 日, p.5
5. 川上純一: 20 年度改定 従来からの病院薬剤師の取組みを評価: 日本病院薬剤師会・川上純一副会長インタビュー. 薬事ニュース No. 4458, 2020 年 4 月 10 日 p.9
6. 川上純一: 日薬・山本会長「第 4 次改造内閣」新常務は 5 人が入閣. リスファクス

No. 8016, 2020 年 5 月 19 日, p.6

7. 川上純一: 日薬・理事候補者 30 人を決定: 役員の 3 分の 1 を入れ替える大幅刷新. Pharmacy Newsbreak No. 1656, 2020 年 5 月 20 日, p.2-3
8. 川上純一: 日病薬、7 月 4 日の理事会で役職決定: 理事候補者、新任は 6 人. Pharmacy Newsbreak No. 1680, 2020 年 6 月 23 日, p.2-3
9. 川上純一: 厚労省・医薬品安定供給確保検討会 医薬品の欠品時の製薬企業の情報提供の在り方が論点に. ミクス Online, 2020 年 6 月 29 日, <https://www.mixonline.jp/tabid55.html?artid=69514>
10. 川上純一: 日薬の山本会長が 4 選「社会から期待される薬剤師を目指す」. 社会保険旬報 Web 医療と介護, 医療ニュース, 2020 年 6 月 29 日, <https://info.shaho.co.jp/iryou/trend/202006/10588>
11. 川上純一: 日本病院薬剤師会第 61 回通常総会 令和 2・3 年度の役員を選任. 薬事新報 No. 3157, 2020 年 7 月 9 日, p.1
12. 川上純一: 日本薬剤師会定時総会 次期理事を選任. 薬事新報 No. 3157, 2020 年 7 月 9 日, p.1-2
13. 川上純一: 日本薬剤師会が定時総会を開催、執行部新体制を了承. 薬事ニュース No. 4471, 2020 年 7 月 10 日, p.4
14. 川上純一: 厚労省医薬品の安定確保策を議論 関係者会議で取りまとめへ. 病院新聞 No. 2612, 2020 年 7 月 16 日, p.3
15. 川上純一: 浜松医科大学医学部附属病院教授・薬剤部長の川上純一氏に聞く: 院内の「当たり前」の環境を守るのが薬剤師、医薬品供給において薬剤師は主役であり、究極の裏方. 日経 DI オンライン, 2020 年 7 月 20 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/trend/202007/566415.html>
16. 内藤隆文. 冒頭文. JSHP Mail News No.453. 2020 年 7 月 28 日
17. 川上純一: 病院薬剤師の方向性: 日病薬東北ブロック第 10 回学術大会特別講演、シンポジウムなど. 薬事新報 No. 3163, 2020 年 8 月 20 日, p.3-4
18. 川上純一: 新薬承認のキーマンに流れる製薬マナーの驚愕: 審議会委員への多額の金銭授受は妥当なのか. 東洋経済 online, 2020 年 9 月 5 日, <https://toyokeizai.net/articles/-/373148>
19. 川上純一: 浜松医大病院川上氏が報告: フォーミュラリーで成果、第一選択はオセルタミビル. 薬事日報 No. 12364, 2020 年 10 月 5 日, p.24
20. 川上純一: BS 導入初期加算、コロナ禍で算定に支障: 協議会フォーラムで日薬・川上副会長. 日刊薬業 No. 15486, 2020 年 10 月 15 日, p.8
21. 川上純一: 日病薬 現行法超える業務拡大は「今後の展開」、まず実態把握. リスファクス No. 8118, 2020 年 10 月 19 日, p.6
22. 川上純一: バイオ後続品に AG の壁「普及を阻害」と指摘相次ぐ: フォーラムで議

論活発. 薬事日報 No. 12370, 2020 年 10 月 16 日, p.1

23. 川上純一: 院内の薬剤管理、今一度見直しませんか?. 浜松医大薬剤部の「薬剤管理、ここがポイント!」, 日経 DI オンライン, 2020 年 10 月 26 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/column/hamamatsu/202010/567566.html>
24. 川上純一. 冒頭文. JSHP Mail News No.465, 2021 年 11 月 4 日
25. 川上純一: 「安定確保医薬品」定義し供給不安解消へ、薬剤師が薬剤管理に積極的関わりを. 日経ドラッグインフォメーション No. 277 (2020.11 号), p.32-34
26. 川上純一: 審査報告書と薬価算定資料を読み解く「裏ワザ」. 浜松医大薬剤部の「薬剤管理、ここがポイント!」, 日経 DI オンライン, 2020 年 11 月 13 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/column/hamamatsu/202011/567810.html>
27. 川上純一: 日本病院薬剤師会副会長川上純一氏「安定確保医薬品」定義し供給不安解消へ、薬剤師が薬剤管理に積極的関わりを. 日経 DI オンライン, 2020 年 11 月 18 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/column/interview/202011/567786.html>
28. 川上純一: 薬剤師の臨床研修制度、義務化目指し協議開始 四病協: 必要性理解も「丁寧に検討すべき」日病薬・川上副会長. メディファクス No. 8394, 2020 年 11 月 30 日, p.1
29. 川上純一: 適正な医薬品の採用や管理は何のために必要?. 浜松医大薬剤部の「薬剤管理、ここがポイント!」, 日経 DI オンライン, 2020 年 12 月 17 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/column/hamamatsu/202012/568250.html>
30. 川上純一: 小林化工問題「医薬品全体への信頼性欠く」日病薬・木平会長、製造委託「見える化」の要望も. 日刊薬業 No. 15545, 2021 年 1 月 18 日, p.9
31. 川上純一: 薬剤師の卒後臨床研修義務化「まずは卒前教育の充実を」日病薬・木平会長. Pharmacy Newsbreak No. 1814, 2021 年 1 月 18 日, p.3
32. 川上純一: 小林化工問題「医薬品全体への信頼性欠く」日病薬・木平会長、製造委託「見える化」の要望も. Pharmacy Newsbreak No. 1814, 2021 年 1 月 18 日, p.3-4
33. 青野浩直: フォーミュラリー策定のタイミングは? 浜松医大薬剤部の「薬剤管理、ここがポイント!」, 日経 DI オンライン, 2021 年 2 月 1 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/column/hamamatsu/202102/568663.html>
34. 青野浩直: バイオシミラーのフォーミュラリー作成法は? 浜松医大薬剤部の「薬剤管理、ここがポイント!」, 日経 DI オンライン, 2021 年 3 月 9 日, <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/di/column/hamamatsu/202103/569171.html>
35. 川上純一: 新医薬品産業ビジョン、後発品業界の再編に言及へ: 厚労省が今夏に策定、品質・安定確保を担保できなければ「退出」も. 日刊薬業 No. 15593, 2021 年 3 月 29 日, p.3
36. 川上純一: 「安定確保医薬品」リストを了承、今後の焦点は薬価に: 厚労省・関係者会議. 日刊薬業 No. 15593, 2021 年 3 月 29 日, p.4

37. 川上純一: 厚労省、後発品業界の再編を「指導」: 品質担保できなければ「退出を」、共同開発の仕組みも問題視. リスファクス No. 8223, 2021 年 3 月 29 日, p.2
38. 川上純一: 新時代を「薬剤師たちはどう生きるか」. マイナビ 2022 就活ガイドブック薬学生ナビ: 薬学生のための仕事研究&インターンシップガイド秋冬号 2022, マイナビ, 2021, p.14-19
39. 川上純一: 川上先生に聞く若手薬剤師にオススメの資格とは?: Qualifications×Pharmacist. マイナビ 2022 就活ガイドブック: 薬学生のための就活準備ガイドブック 2022, マイナビ, 2021, p.24-27

F. 著書・翻訳

1. 内藤隆文 (分担執筆). 臨床実習の基礎, 処方せんと疑義照会, モデル・コアカリキュラムに沿ったわかりやすい新実務実習テキスト 2021-2022. 病院・薬局実務実習東海地区調整機構/監、実務実習テキスト作成研究会/編, じほう, p.35-38, p.92-95, 東京, 2020
2. 堀雄史 (分担執筆). 臨床実習の基礎, 処方せんに基づく医薬品の調製, モデル・コアカリキュラムに沿ったわかりやすい新実務実習テキスト 2021-2022. 病院・薬局実務実習東海地区調整機構/監、実務実習テキスト作成研究会/編, じほう, p.39-42, p.153-155, 東京, 2020
3. 内藤隆文 (分担執筆), 川上純一. 免疫アレルギー疾患. 問 8・37,38, 発展問題 29,30. 医療薬学・臨床薬学. 薬学演習 I, スタンダード薬学シリーズ II 9. 日本薬学会編, p.164, 165, 187, 188, 東京化学同人, 東京
4. 内藤隆文 (分担執筆), 川上純一. 薬物・毒物の定量法, フェノバルビタール, プリミドン, フェニトイン, ラモトリギン, バルプロ酸ナトリウム, クロバザム, ハロペリドール, テオフィリン, リドカイン, N-アセチルプロカインアミド, プロプラノロール, バンコマイシン, 高久史麿/監, 黒川清, 春日雅人, 北村聖/編, 大西宏明/編集協力, 臨床検査データブック 2021-2022, 776-794, 医学書院, 東京, 2021
5. 川上純一 (分担執筆), 伊賀立二. 薬物・毒物の定量法, クロルプロマジン, イミプラミン, アミトリプチリン, アプリンジン, アミカシン, パラコート, 高久史麿/監, 黒川清, 春日雅人, 北村聖/編, 大西宏明/編集協力, 臨床検査データブック 2021-2022, 786-800, 医学書院, 東京, 2021
6. 川上純一: 小児薬剤投与法の原則. 水口雅, 市橋光, 崎山弘, 伊藤秀一 (総編), 今日の小児治療指針第 17 版, 医学書院, 東京, 2020.12.1, p.923-927
7. 木村通男, 川上純一, 藤井進, 康東天, 増田智先, 徳永章二, 堀田多恵子他 (分担執筆), 中島直樹, 山下貴範 (編), データ駆動型医学研究のためのデータ標準化・品質管理ノススメ: MID-NET を用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のためのデータ標準化の普及に関する研究から, (株) masterpeace, 東京, 2020.9.25

8. 内藤隆文, 川上純一: 血液中の薬物・毒物濃度の定量法と測定値に基づく治療管理の意義, 高久史麿/監, 黒川清, 春日雅人, 北村聖/編, 大西宏明/編集協力, 臨床検査データブック 2021-2022, 776, 医学書院, 東京, 2021
9. 川上純一, 堀雄史: 第1章 薬物治療の基礎. 井上智子, 窪田哲朗編, 臨床薬理学 第1版第5刷 (系統看護学講座 別巻), 医学書院, 東京, 2021, p. 6-36

G. 学会活動

【特別講演・シンポジウム・受賞講演など】

国内学会

1. 川上純一: 2020 年度診療報酬改定が示す病院薬剤師の方向性. 日本病院薬剤師会東北ブロック第 10 回学術大会. 2020 年 6 月 (仙台)
2. 川上純一: フォーミュラリーによる抗菌薬・抗ウイルス薬の適正処方への支援. 第 68 回日本化学療法学会総会. 2020 年 9 月 (神戸)
3. 川上純一: 薬剤師によるタスク・シフティングの推進: ウィズコロナ・アフターコロナ時代も見すえて. シンポジウム: タスクシェア・シフトの時流に乗ろう! 薬剤師力を社会・医療環境の変化へ活用することで新時代を作る, 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
4. 内藤隆文, 川上純一. 医療薬学研究の「これまで」と「これから」: 浜松医科大学病院薬剤部の取り組み. 令和の時代に求められる医療薬学研究とは. 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
5. 川上純一: フォーミュラリーをめぐる議論と基本的な考え方. シンポジウム: 地域包括ケアシステムにおける患者と医療をエビデンスで支える地域フォーミュラリーのススメ, 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
6. 川上純一: バイオシミラーに関する政策・現況と使用促進に向けた病院薬剤師の役割. 日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会. 2020 年 10 月 (東京)
7. 川上純一: 高齢者薬物療法に関わる診療報酬改定 2020. シンポジウム: 高齢者薬物療法と薬剤師の関わり, 日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会. 2020 年 10 月 (東京)
8. 八木達也, 青野浩直, 川上純一: 日本・スウェーデンにおける医療ビッグデータ・医療データベースシステムの医薬品管理および臨床研究への応用. 大会企画: 医療機関・薬局における薬剤師業務・研究の進展と医療情報への期待, 第 40 回医療情報学連合大会・第 21 回医療情報学会学術大会. 2020 年 11 月 (浜松)
9. 堀 雄史: 医療情報データベースを用いた研究および病院薬剤部の MID-NET への関わり. 第 40 回医療情報学連合大会共同企画 7: 「データ駆動型臨床研究ノススメ～MID-NET の経験から～」, 第 40 回医療情報学連合大会・第 21 回医療情報学会学術大会. 2020 年 11 月 (浜松)

10. 川上純一: これからのがん治療におけるバイオシミラーの役割とその導入事例. 第 31 回日本消化器癌発生学会総会. 2020 年 11 月 (大阪)
11. 川上純一: 病院薬剤部における認定薬剤師の魅力. 学術委員会企画シンポジウム: 認定薬剤師のこれまでとこれから, 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会. 2020 年 12 月 (福岡)
12. 川上純一: バイオシミラー使用促進に向けた病院薬剤師の役割: フォーミュラリー活用を含めて. 第 42 回日本病院薬剤師会近畿学術大会. 2021 年 1 月 (大阪)
13. 見野靖晃. 薬剤師から学ぶ免疫抑制剤 TDM の pitfall: ミコフェノール酸の TDM のピットフォール. 第 54 回日本臨床腎移植学会. 2021 年 2 月 (Web 開催)
14. 川上純一: がん治療におけるバイオシミラーの役割と使用促進: フォーミュラリー活用を含めて. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2021. 2021 年 3 月 (幕張)
15. 柴田海斗, 内藤隆文, 阿部一樹, 川上純一. がん病態における抗体医薬品の薬物動態について. 抗悪性腫瘍薬の薬物動態を考える. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2021. 2021 年 3 月 (Web 開催)

【一般発表】

1. 吉村昂樹, 鬼塚直樹, 村木優一, 宮崎長一郎, 冢瀬諒, 原口享, 堀越博一, 河上英治, 金内幸子, 武田直子, 田城涼子, 山田英俊, 島田光明, 川上純一, 山本信夫: 保険薬局から収集した外来診療所における経口抗菌薬使用状況の把握及び収集体制の構築に関する研究: 全国 98 の保険薬局から収集した 2013 年から 2018 年の経口抗菌薬の使用動向. 第 53 回日本薬剤師会学術大会. 2020 年 10 月 (札幌)
2. 阿部一樹, 柴田海斗, 内藤隆文, 柄山正人, 大塚篤史, 前川真人, 山田康秀, 三宅秀明, 須田隆文, 川上純一. 進行がん患者における末梢血リンパ球数、血清 IgG 挙動及び悪液質の病態に着目した血清中ニボルマブ濃度の予測性評価. 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
3. 望月啓志, 柴田海斗, 内藤隆文, 下山久美子, 小川法良, 川上純一. 固相化トリプシン消化を用いたヒト血清中トシリズマブ濃度の LC-MS/MS 測定法開発とその臨床適用. 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
4. 阿久津駿太, 内藤隆文, 星川昂平, 早乙女雅夫, 前川裕一郎, 川上純一. 心不全患者における血漿中トルバプタンとその水酸化代謝物の各光学異性体の同時定量法の確立. 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
5. 山本和輝, 星川昂平, 堀雄史, 八木達也, 神谷正貴, 川上純一. 頭頸部がん患者における放射線の照射部位ごとの口腔粘膜炎の重症度とその疼痛に対する麻薬施用量の関係. 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
6. 田口怜奈, 内藤隆文, 鈴木光路, 伊東宏晃, 川上純一. デュロキセチン服用妊婦における臍帯血・母体血中薬物濃度と新生児薬物離脱症候群との関係. 第 30 回日本

医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)

7. 三浦基靖, 内田信也, 田中紫茉莉, 神谷千明, 片山直紀, 袴田晃央, 小田切圭一, 乾直輝, 川上純一, 渡邊裕司, 並木徳之. 薬物相互作用検出における定量的評価法としてのカクテル試験の妥当性. 第 30 回日本医療薬学会年会. 2020 年 10 月 (Web 開催)
8. 望月啓志, 柴田海斗, 内藤隆文, 下山久美子, 小川法良, 川上純一. 関節リウマチ患者における LC-MS/MS 法を用いた血清中トシリズマブ濃度測定法の確立と免疫学的測定法との定量性の比較. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会. 2020 年 12 月 (福岡)
9. 鈴木光路, 内藤隆文, 田中達也, 山田康秀, 伊藤邦彦, 川上純一. 頭頸部がん患者におけるトラマドールとその脱メチル代謝物の血中光学異性体濃度に及ぼす CYP2D6 活性および悪液質の影響. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会. 2020 年 12 月 (福岡)
10. 加藤真也, 鈴木祐介, 和久田智靖, 櫻井飛鳥, 内藤隆文, 山末英典, 川上純一. 疼痛緩和目的のオキシコドンでオピオイド依存症を発症後, オピオイド完全離脱に成功した AYA 世代慢性骨髄性白血病患者の一例. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2021. 2021 年 3 月 (Web 開催)
11. 中津川瑛美, 内藤隆文, 井元優美, 小野孝明, 川上純一. イトラコナゾール投与患者における血清ビリルビン上昇および OATP1B の輸送活性の定量的評価. 第 141 回日本薬学会年会. 2021 年 3 月 (Web 開催)

国際学会

1. Mochizuki T, Shibata K, Naito T, Shimoyama K, Ogawa N, Kawakami J. A rapid analytical method using an LC-MS/MS for quantitation of serum tocilizumab and its clinical application. The 18th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology (IATDMCT2020). Sep 2020 (Virtual congress)
2. Yagi T, Kieler H, Reutfors J, Mannheimer B, Linder M. Adverse bleeding events among patients concomitantly treated with direct anti-coagulants and antibiotics within a Swedish nationwide cohort. 36th International Conference on Pharmacoepidemiology (ICPE). Sep 2020 (Virtual congress)
3. Suzuki K, Naito T, Tanaka H, Yamada Y, Itoh K, Kawakami J. Impact of CYP2D6 activity on enantiomeric pharmacokinetics of tramadol and its demethylated metabolites in patients with head and neck cancer. The 7th Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC2020 Virtual). Oct 2020 (Virtual congress)
4. Abe K, Shibata K, Naito T, Karayama M, Otsuka A, Maekawa M, Yamada Y, Miyake H, Suda T, Kawakami J. Relationships between serum nivolumab and peripheral blood

lymphocyte, serum IgG, or cachexia stage in cancer patients. The 7th Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC2020 Virtual). Oct 2020 (Virtual congress)

【学会等における座長、オーガナイザー】

国内学会

座長・オーガナイザー：

1. 川上純一: Pharmacist Web Seminar (第一三共株式会社), 座長, 講演 (診療報酬改定で求められるポリファーマシー対策とその先を見据えて, 国立長寿医療研究センター薬剤部溝神文博先生). 2020 年 9 月 (東京)
2. 川上純一, 折井孝男: 第 53 回日本薬剤師会学術大会, 座長, PMDA 共催企画 (あなたの心に触れる薬局における安全性情報の利活用). 2020 年 10 月 (札幌)
3. 川上純一, 小林昌宏: 第 69 回日本感染症学会東日本地方会学術集会第 67 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 座長, シンポジウム (抗菌薬適正使用に向けた取り組み: AMR 制御に何が必要か?). 2020 年 10 月 (東京)
4. 川上純一: 第 30 回日本医療薬学会年会, 座長, メディカルセミナー (ポリファーマシー対策の課題と今後の展望, 国立長寿医療研究センター薬剤部溝神文博先生; 患者背景を考慮した 2 型糖尿病治療, 岐阜大学大学院医学系研究科内分泌代謝病態学飯塚勝美先生). 2020 年 10 月 (名古屋)
5. 内藤隆文: 第 30 回日本医療薬学会年会, オーガナイザー, シンポジウム (令和の時代に求められる医療薬学研究とは). 2020 年 10 月 (名古屋)
6. 堀雄史: 第 30 回日本医療薬学会年会, 座長, シンポジウム (患者安全の確保に期待される薬剤師の役割 有事対応と平時の活動について). 2020 年 10 月 (名古屋)
7. 川上純一, 土屋文人: 第 40 回医療情報学連合大会・第 21 回医療情報学会学術大会, 座長, 大会企画 (医療機関・薬局における薬剤師業務・研究の進展と医療情報への期待). 2020 年 11 月 (浜松)

地域における研究会、研修会

1. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会西部支部学術講演会, 座長, 講演 (炎症性腸疾患の治療と最新の話題, 浜松医科大学第一内科杉本健先生). 2020 年 10 月 (浜松)
2. 川上純一: Lung Cancer Biosimilar Internet Symposium (ファイザー株式会社), 座長, 講演 (肺がん薬物療法へのバイオシミラー導入の意義とベバシズマブ BS の信頼性, 国立がん研究センター中央病院呼吸器内科後藤悌先生). 2020 年 11 月 (東京)
3. 川上純一: Pharmacy University Web 研究会, 座長, 講演 (逆流性食道炎治療に PPI 長期投与は必要か, 大阪府済生会野江病院消化器内科羽生泰樹先生; 本邦におけるオンライン診療の現状と課題, 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室岸本泰士郎先生). 2020 年 11 月 (東京)

4. 川上純一: Pharmacist Web Seminar (第一三共株式会社), 座長, 講演 (コロナ禍で活躍する薬剤師を目指して!, 札幌市危機管理対策室参与岸田直樹先生). 2020 年 11 月 (東京)
5. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 講演 (患者背景に応じた糖尿病注射剤の選択を考える, 浜松医科大学内科学第二講座釣谷大輔先生). 2020 年 11 月 (浜松)
6. 川上純一: 肺癌化学療法と支持療法を考える会 (大鵬薬品工業株式会社), 座長, 講演 (肺癌化学療法の最新治療と制吐療法の進歩, 浜松医科大学臨床薬理学講座乾直輝先生). 2020 年 12 月 (浜松)
7. 川上純一: 県西部女性医療を考える会, 静岡県病院薬剤師会西部支部, 座長, 講演 (薬剤師の先生に知っていただきたい腸内細菌と慢性便秘症, 浜松医科大学小児外科川原央好先生). 2020 年 12 月 (浜松)
8. 川上純一: Pharmacist Web Seminar (第一三共株式会社), 座長, 講演 (外来がん化学療法の質向上を目指した地域連携, 横浜市立大学附属市民総合医療センター薬剤部橋本真也先生). 2021 年 2 月 (東京)
9. 川上純一: 浜松 BC 薬剤師 Web セミナー (日本イーライリリー株式会社), 座長, 講演 (ホルモン受容体陽性 HER2 陰性再発乳癌, 浜松医療センター薬剤科宮本康敬先生; 外来における看護師・薬剤師の連携, 静岡県立総合病院看護部中村有希先生・薬剤部中村和代先生). 2021 年 2 月 (浜松)
10. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 講演 (栄養輸液における細菌増殖と適切な管理, 奥羽大学薬学部大原宏司先生). 2021 年 2 月 (浜松)
11. 川上純一: 浜松医科大学医学部附属病院保険診療講演会, 座長, 講演 (地域フォーミュラリーとその意義, 全国健康保険協会静岡支部名波直治先生; 当院における薬剤管理とフォーミュラリーの活用, 浜松医科大学医学部附属病院薬剤部青野浩直先生). 2021 年 2 月 (浜松)
12. 川上純一: 病院業務におけるスキルアップを考える会 HOPS (第一三共株式会社), 座長, 講演 (総合病院におけるせん妄の対応, 聖隷三方原病院浜松市認知症疾患医療センター磯貝聡先生). 2021 年 3 月 (浜松)
13. 石田卓矢: 病院業務におけるスキルアップを考える会 HOPS (第一三共株式会社), 座長, 講演 (当院におけるせん妄対策活動と薬剤師のかかわり, 岡山大学病院薬剤部江角悟先生). 2021 年 3 月 (浜松)

H. 学会等における役職

1. 川上純一: 日本病院薬剤師会 副会長
2. 堀雄史: 日本病院薬剤師会 医療安全対策委員
3. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会 副会長

4. 青野浩直: 静岡県病院薬剤師会 理事
5. 内藤隆文: 静岡県病院薬剤師会 評議員
6. 川上純一: 日本薬剤師会 副会長
7. 川上純一: 日本薬剤師会 病院診療所薬剤師部会 部会長
8. 堀雄史: 国際薬剤疫学会 学会誌 (Pharmacoepidemiology and Drug Safety) 編集委員 (Associate editor)
9. 川上純一, 内藤隆文, 堀雄史: 日本医療薬学会 代議員
10. 内藤隆文: 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師認定委員会 委員
11. 内藤隆文: 日本医療薬学会 広報・出版委員会 委員
12. 川上純一: 日本医療薬学会 学会誌 (Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences) 編集委員 (Editorial advisory board)
13. 川上純一, 内藤隆文: 日本臨床薬理学会 社員
14. 川上純一: 日本臨床薬理学会 広報委員会 委員
15. 川上純一: 日本臨床薬理学会 東海・北陸支部 支部世話人
16. 八木達也: 日本臨床薬理学会 編集委員会 委員
17. 川上純一: 日本薬学会 医療薬科学部会 世話人
18. 見野靖晃: 日本薬学会 医療薬科学部会 次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 若手世話人
19. 内藤隆文: 日本薬学会 代議員
20. 川上純一: 日本薬学会 東海支部 幹事
21. 川上純一: 日本薬物動態学会 代議員
22. 川上純一: 日本薬剤学会 代議員
23. 川上純一: 日本薬剤疫学会 理事
24. 堀雄史: 日本薬剤疫学会 学会誌 (薬剤疫学) 編集委員
25. 川上純一: 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 理事
26. 内藤隆文, 見野靖晃: 日本 TDM 学会 TDM ガイドライン策定委員会 委員
27. 内藤隆文: 日本 TDM 学会 利益相反委員会 委員長
28. 内藤隆文, 見野靖晃: 日本 TDM 学会 評議員
29. 内藤隆文: 日本 TDM 学会 理事
30. 内藤隆文: 日本緩和医療薬学会 社員
31. 山田尚広: 国公立大学病院感染対策協議会 ガイドライン作業部会 抗菌薬適正使用ガイドライン作成担当委員
32. 堀雄史: 国立大学附属病院医療安全管理協議会 GRM 部会薬剤師代表
33. 川上純一: 静岡県立大学 研究倫理審査委員会 委員
34. 川上純一: 厚生科学審議会 委員

35. 川上純一: 厚生科学審議会 疾病対策部会 委員
36. 川上純一: 厚生科学審議会 再生医療等評価部会 委員
37. 川上純一: 厚生科学審議会 臨床研究部会 委員
38. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 委員
39. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 薬事分科会 委員
40. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第一部会 委員
41. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会 委員
42. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品再評価部会 委員
43. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 医療分科会 委員
44. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 療養病床の在り方等に関する特別部会 委員
45. 川上純一: 厚生労働省 特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会 構成員
46. 川上純一: 厚生労働省 がん診療提供体制のあり方に関する検討会 構成員
47. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 後発医薬品使用促進ロードマップ検証検討事業検討委員会 委員
48. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発等事業 委員
49. 川上純一: 厚生労働省 医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議 構成員
50. 川上純一: 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA) 審査・安全業務委員会 委員
51. 川上純一: 静岡県薬剤師研修協議会 委員
52. 川上純一: 東海地区薬学部学生病院・薬局実務実習調整機構 委員
53. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) トライアウト 専門委員
54. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START) 専門委員
55. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評議員
56. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業運営委員会 委員
57. 川上純一: 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員会 委員
58. 川上純一: 一般社団法人日本医薬情報センター(JAPIC) 副会長
59. 堀雄史: 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 市販後データサイエンスアドバイザリーグループ委員
60. 川上純一: 公益財団法人臨床薬理研究振興財団 選考委員
61. 川上純一: 国立大学附属病院長会議常置員会 医療安全・質向上のための相互チェッ

- ク実施に伴う重点項目の評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ 委員
62. 川上純一: 国立大学附属病院長会議常置員会 特定機能病院間相互のピアレビュー実施に伴う調査項目の評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ 委員
 63. 山本知広: はままつ CDE 研究会世話人
 64. 丸山修治: はままつ CDE 研究会世話人
 65. 石田卓矢: はままつ CDE 研究会世話人

I. 学術雑誌への貢献

査読

1. 見野靖晃. Current Drug Safety (Apr 2020)
2. 見野靖晃. Current Drug Safety (May 2020)
3. 八木達也. Bulletins of the Pharmaceutical Society (Apr 2020)
4. 内藤隆文. Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (May 2020)
5. 八木達也. Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (May 2020)
6. 見野靖晃. 日本病院薬剤師会雑誌 (Jun 2020)
7. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jun 2020)
8. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jun 2020)
9. 八木達也. Bulletins of the Pharmaceutical Society (Jun 2020)
10. 八木達也. Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (Jun 2020)
11. 見野靖晃. 日本病院薬剤師会雑誌 (Jul 2020)
12. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jul 2020)
13. 八木達也. Bulletins of the Pharmaceutical Society (Jul 2020)
14. 八木達也. Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (Jul 2020)
15. 見野靖晃. Clinical Case Reports (Aug 2020)
16. 見野靖晃. Current Drug Safety (Aug 2020)
17. 見野靖晃. Current Drug Safety (Sep 2020)
18. 見野靖晃. Current Drug Safety (Sep 2020)
19. 八木達也. 日本病院薬剤師会雑誌 (Sep 2020)
20. 内藤隆文. Biological & Pharmaceutical Bulletin (Oct 2020)
21. 見野靖晃. Current Drug Safety (Oct 2020)
22. 八木達也. Annals of Pharmacotherapy (Oct 2020)
23. 八木達也. 日本病院薬剤師会雑誌 (Oct 2020)
24. 見野靖晃. Current Drug Safety (Nov 2020)
25. 八木達也. Annals of Pharmacotherapy (Nov 2020)
26. 八木達也. 日本病院薬剤師会雑誌 (Dec 2020)
27. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jan 2021)

28. 八木達也. 日本病院薬剤師会雑誌 (Jan 2021)
29. 内藤隆文. Biological & Pharmaceutical Bulletin (Feb 2021)
30. 八木達也. Journal of Infection and Chemotherapy (Feb 2021)
31. 見野靖晃. Current Drug Safety (Mar 2021)
32. 見野靖晃. Current Drug Safety (Mar 2021)
33. 八木達也. Bulletins of the Pharmaceutical Society (Mar 2021)
34. 八木達也. Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (Mar 2021)

J. 研究会

1. 川上純一: 2020 年度診療報酬改定について: 病院薬剤師関連を中心に. 大阪府病院薬剤師会社会保険制度委員会研修会, 大阪, 2020.7.31
2. 佐藤聖, 研修②がん薬物治療における地域連携の体制について. がん薬物治療の地域連携研修会, 浜松 (配信: 浜松), 2020 年 9 月 8 日
3. 川上純一: 病院薬剤師としてビジネスパーソンとして伸びていくために. 2020 年度静岡県病院薬剤師会新人研修会, 静岡, 2020.9.13
4. 川上純一: 新型コロナ時代における医療政策と病院薬剤師に求められること. 静岡県病院薬剤師会西部支部ファーマシスト・マネジメント Web セミナー, 浜松, 2020.10.1
5. 川上純一: 令和 2 年度診療報酬改定と改正薬機法・薬剤師法のポイント. 2020 年度全国自治体病院協議会薬剤部会オンラインセミナー, 東京 (収録), 2020.10.6
6. 川上純一: 病院・地域フォーミュラーの現状と課題. 薬剤経済学研究会 2020 年度第 1 回研究会, 東京, 2020.10.7
7. 川上純一: 持続可能な社会保障へのバイオシミラーの貢献. 日本バイオシミラー協議会第 6 回バイオシミラーフォーラム, 東京, 2020.10.14
8. 川上純一: 医薬品・薬物治療関連の令和 2 年度診療報酬改定と政策動向. 浜松市医師会第 2,766 回診療協議会 (第 412 回生涯教育研修会), 浜松, 2020.10.22
9. 川上純一: バイオシミラーを評価するポイントと使用促進に向けた導入事例. 大阪府下市立病院薬剤部長会, 大阪 (配信: 東京), 2020.11.13
10. 川上純一: 薬剤師を巡る最近の話題. 令和 2 年度病院診療所薬剤師研修会, 日本薬剤師会, 大阪, 2020.11.21
11. 川上純一: フォーミュラーの診療報酬改定に際しての議論と導入事例. 千葉 Pharmacist Seminar via Zoom (サノフィ株式会社), 千葉 (配信: 浜松), 2020.12.18
12. 川上純一: 令和 2 年度診療報酬改定のポイントと新型コロナ時代における医療政策の動向. 千葉県病院薬剤師会医療政策委員会令和 2 年度医療政策・診療報酬 WEB 研修会, 千葉 (配信: 浜松), 2021.1.23
13. 川上純一: フォーミュラーの考え方と導入事例: バイオシミラー使用促進に向

けて、愛知県病院薬剤師会令和2年度第1回尾張西支部研修会、一宮(配信: 浜松), 2021.2.20

14. 川上純一: バイオシミラーの現状と使用促進に向けた導入事例: インスリンリスプロバイオシミラーを含めて、第21回久留米三井薬剤師会 Develop Seminar, 久留米(配信: 浜松), 2021.2.25
15. 川上純一: フォーミュラリーをめぐる議論と薬剤管理の考え方: バイオシミラーの使用促進を含めて、静岡県病院薬剤師会西部支部学術講演会, 浜松, 2021.3.4
16. 川上純一: がん患者が知っておきたいバイオシミラー: パネルディスカッション(がん患者向けセミナー), 厚生労働省医政局経済課委託事業: バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発等事業, 東京, 2021.3.10
17. 川上純一: 医薬品を取り巻く環境の変化とこれからの病院薬剤師の役割を考える、長崎県病院薬剤師会令和2年度第8回学術講演会, 長崎(配信: 浜松), 2021.3.17
18. 川上純一: 医薬品の品質・安定供給・情報提供の重要性: ジェネリック使用促進の歩みを止めないために、日本ジェネリック製薬協会・信頼性向上プロジェクト全体会議, 東京, 2021.3.19
19. 川上純一: バイオシミラー使用促進に向けた取り組みと経済効果: インスリンリスプロバイオシミラーを含めて、宮城県病院薬剤師会 Pharmacist Diabetes Webinar, 仙台(配信: 浜松), 2021.3.24

K. 学外講義・特別講演

1. 堀雄史, 新人薬剤師が把握すべき医薬品安全使用のエッセンス、日本病院薬剤師会 e ラーニング, 2020 年 11 月

L. 院内講義・講演

1. 高井伸彦, 薬剤オーダーリングについて、研修医ガイダンス, 2020 年 4 月 1 日
2. 川上純一, 臨床薬理学の基礎 1-4, 薬理学各論 1-4, 主要疾患の臨床薬理学 1-3, 対症療法の臨床薬理学, 特定の行為に関する臨床薬理学 1-2, 臨床薬理学, 看護学科 3 年次, 2020 年 4-7 月 授業
3. 堀雄史, 医薬品の管理、看護部新採用者研修, 2020 年 7 月
4. 山本知広, NST における薬剤師の役割と輸液、簡易懸濁法, 2020 年度 NST 専門療法士認定教育施設実地修練研修, 2020 年 7 月 7 日
5. 片桐由起子, 抗菌薬適正使用 Episode 5, 2020 年度第 2 回感染対策講習会, 2020 年 7 月 22 日
6. 田中紀章, 薬剤と栄養の経管投与について、NST 勉強会, 2020 年 8 月 31 日
7. 内藤隆文, 医薬品の体内動態及び臨床効果の個人差要因、先端医学特論 III, 2020 年 9 月(浜松) 授業

8. 川上純一. 臨床薬剤学: 処方における注意事項と医薬品添付文書など医薬品情報の活用. 臨床薬理学. 医学科 3 年次, 2020 年 9 月 授業
9. 柴田海斗, オピオイドってどんな薬? 事例に基づいて考えてみよう. 第 2 回緩和ケア講習会 2020 年 10 月 6 日
10. 山田尚広, 抗菌薬適正使用 Episode 6, 2020 年度第 3 回感染対策講習会, 2020 年 12 月 18 日
11. 青野浩直, 当院における薬剤管理とフォーミュラリーの活用. 保険診療講演会, 2021 年 2 月 22 日

M. 研究助成

1. 間賀田泰寛 (代表), 内藤隆文 (分担): 2020 年度科学研究費補助金, 挑戦的研究 (萌芽)「がん悪液質における中枢機能障害の画像科学による病態機能解明」(2020-2022 年度) (新規)
2. 内藤隆文 (代表), 川上純一 (分担): 2020 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)「周産期における肝取り込みトランスポーターの活性評価による甲状腺ホルモンの挙動解析」(2020-2022 年度) (新規)
3. 見野靖晃 (代表), 川上純一 (分担): 2020 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)「PK-PD 解析に基づく自己免疫疾患に対する低分子分子標的薬の投与設計法の確立」(2020-2022 年度) (新規)
4. 川上純一 (代表), 内藤隆文 (分担): 2020 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)「がん患者における神経障害性疼痛治療薬の鎮痛効果および有害作用の変動予測法の構築」(2018-2020 年度) (継続)
5. 柴田海斗 (代表): 2020 年度科学研究費補助金, 若手研究「抗 EGFR 抗体薬の血中動態・糖鎖修飾の定量的評価に基づくがん治療効果の個人差解明」(2020-2022 年度) (新規)
6. 山田尚広 (代表): 2020 年度科学研究費補助金, 若手研究「皮膚障害発現機序の解明によるポリコナゾールの至適投与設計法の開発」(2020-2022 年度) (新規)
7. 田中達也 (代表): 2020 年度科学研究費補助金, 若手研究「腸内細菌叢の変化に着目した PPI 投与が及ぼす薬物代謝能への影響の評価」(2020-2022 年度) (新規)
8. 志田拓顕 (代表): 2020 年度科学研究費補助金, 若手研究「多発性骨髄腫の病勢指標である M タンパクに着目した抗体医薬 3 種の薬物動態解析」(2020-2022 年度) (新規)
9. 佐藤聖 (代表): 2020 年度科学研究費補助金, 若手研究「がん病態時における血中 miRNA に基づくオピオイドの至適薬物療法の構築」(2019-2021 年度) (継続)
10. 石田卓矢 (代表): 2020 年科学研究費補助金, 若手研究「がん病態時におけるフェンタニルの鎮痛効果と血液中のサイトカイン濃度との関係解析」(2019-2021 年度)

(継続)

11. 八木達也 (代表) : 2020 年科学研究費補助金, 若手研究「抗菌薬による腸内フローラの変化が及ぼす CYP3A4 代謝薬剤の薬効・安全性への影響」(2019-2021 年度)
(継続)
12. 阿部一樹 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「血清中炎症関連サイトカイン濃度と血清中ニボルマブ濃度の関係解析」(新規)
13. 田中紀章 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「微量元素製剤の連続投与が胆汁うっ滞患者に及ぼす影響の解明」(新規)
14. 鈴木祐介 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「アプレピタントとその代謝物の血漿タンパク結合率に着目した制吐効果の個人差解明」(新規)
15. 望月啓志 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「抗薬物抗体に着目したバイオマーカー探索に有用な血中トシリズマブ濃度測定法の検討」(新規)
16. 鈴木光路 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「がん患者に対するトラマドールの個別化投与設計における血中マイクロ RNA の有用性評価」(新規)
17. 吉川望美 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「がん悪液質患者におけるプレガバリンの中枢症状と炎症性サイトカイン濃度との関係解析」(新規)
18. 三浦文美 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「抗癌剤による皮膚障害発現予測に向けた肌水分測定器による皮膚水分量・皮脂量評価」(新規)
19. 田口怜奈 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「周術期の CYP3A 活性変遷に着目したアムロジピンの血中動態の解明」(新規)
20. 鈴木利昌 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「がん悪液質の進行が及ぼすヒドロモルフォンの薬物動態への影響」(新規)
21. 星川昂平 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「心不全患者におけるトルバプタン肝毒性代謝物の血中挙動に着目した薬剤性肝障害の評価」(新規)
22. 森下由加里 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「フルオロウラシル投与患者における眼障害の発症率とその要因の解明」(新規)
23. 中津川瑛美 (代表) : 2020 年度科学研究費補助金, 奨励研究「OATP1B 活性に着目したイトラコナゾールによる高ビリルビン血症の定量的解析」(新規)
24. 柴田海斗 (代表) : 一般社団法人 日本緩和医療薬学会. 2020 年度研究助成事業研究助成金「がん骨転移患者を対象としたデノスマブによる鎮痛効果の個人差要因の解明」(新規)
25. 柴田海斗 (代表) : 浜松医科大学. 2020 年度若手研究プロジェクト「逆相 HPLC を用いた抗 VEGFR-2 抗体薬のヒト血清中濃度測定法の開発と胃がん患者におけるその臨床適用」(新規)
26. 山田尚広 (代表) : 浜松医科大学. 2020 年度若手研究プロジェクト「ポリコナゾールの皮膚酸化ストレス発生リスク因子に着目した至適投与法の開発」(新規)

27. 阿部一樹（代表）：浜松医科大学. 2020 年度大学院学生研究支援「トリプルカラムスイッチング LC-MS/MS 法による血清中ペムブロリズマブ濃度測定法の開発」（新規）
28. 黒澤優子（代表）：浜松医科大学. 2020 年度大学院学生研究支援「周産期における OATP1B の輸送活性の定量的評価に基づくサイロキシン変動機序の解明」（新規）
29. 阿部一樹：浜松医科大学. 2020 年度大学院学生に対する研究活動支援（新規）
30. 望月啓志：浜松医科大学. 2020 年度大学院学生に対する研究活動支援（新規）
31. 阿久津駿太：浜松医科大学. 2020 年度大学院学生に対する研究活動支援（新規）
32. 佐藤聖（代表），内藤隆文（分担）：公益財団法人 薬学研究奨励財団. 第 41 回（2020 年度）研究助成金（グループ B）「血中 microRNA に基づくオピオイドの個別化投与設計法の確立」（新規）

N. 共同研究

【学内】

1. 小川法良(免疫リウマチ内科)，鈴木基裕(整形外科)：関節リウマチ患者における免疫抑制薬の体内動態と薬効および有害反応との関係
2. 土井松幸(集中治療部)：集中治療管理下における鎮静剤の臨床効果および有害作用の個人差要因の解明
3. 須田隆文(呼吸器内科)：非小細胞肺癌患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
4. 山田康秀(臨床腫瘍学)，細川誠二(耳鼻咽喉科)：がん患者における鎮痛薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
5. 三宅秀明(泌尿器科)：腎細胞がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
6. 前川裕一郎(循環器内科)：心不全患者における利尿薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
7. 須田隆文(呼吸器内科)：特発性肺線維症患者における抗線維化薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
8. 細川誠二(耳鼻咽喉科)：頭頸部がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
9. 小野孝明(血液内科)：易感染性患者における抗真菌薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
10. 古橋一樹(検査部)：抗 MRSA 薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
11. 伊東宏晃(周産母子センター)：周産期患者における降圧薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
12. 木村道男(医療情報部)：臨床研究情報システムを用いた副作用の検出方法に関する

検討

13. 古田隆久(臨床研究管理センター):酸関連疾患患者における胃酸分泌抑制薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
14. 黒住和彦(脳神経外科):てんかん患者における抗てんかん薬の血中動態と臨床効果の個人差要因の解明

【学外】

1. Laura Pazzagli, Karin Genbert, Helle Kieler (Karolinska Institutet, Stockholm Sweden) Patients, already treated with selective immunosuppressant, TNF- α or IL-6 inhibitors and risks of severe consequences of COVID-19 pneumonia
2. Buster Mannheimer, Johan Reutfors, Johan Ursing, Helle Kieler, Marie Linder (Karolinska Institutet, Stockholm Sweden) Bleeding events among patients concomitantly treated with oral direct anticoagulants and macrolide or fluoroquinolone antibiotics
3. 村木優一、冢瀬諒、漣航平(京都薬科大学) テイコプラニンあるいはバンコマイシンとピペラシリン/タゾバクタムの併用療法による急性腎障害の発現率の比較

O. 受賞

1. 鈴木光路. 優秀演題賞, 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020 年 12 月(福岡) 鈴木光路, 内藤隆文, 田中達也, 山田康秀, 伊藤邦彦, 川上純一. 頭頸部がん患者におけるトラマドールとその脱メチル代謝物の血中光学異性体濃度に及ぼす CYP2D6 活性および悪液質の影響
2. 星川昂平. Postdoctoral Award, 日本医療薬学会(令和 2 年度) 心不全患者において CYP3A5 遺伝子型がトルバプタンの薬物動態に及ぼす影響とそれらの CYP3A 活性の内因性マーカーおよび血清ナトリウム値との関係
3. 山田尚広. 学術奨励賞, 日本薬学会東海支部(令和 2 年度) 病態下の薬物代謝変動予測に基づく抗真菌薬療法の適正化に関する研究

P. 資格認定

1. 日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師(山田尚広) 1 名
2. 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師(山田尚広) 1 名
3. 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師(加藤文美) 1 名
4. 日本病院薬剤師会 日病薬認定指導薬剤師(川上純一, 内藤隆文, 青野浩直, 加藤真也, 見野靖晃, 田中達也, 志田拓顕, 八木達也, 三浦基靖, 大原早織, 大澤志保) 11 名
5. 日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師(加藤真也, 大澤志保, 志田拓顕, 高井伸彦, 井元優美, 森下由加里, 山本和輝) 7 名

6. 日本病院薬剤師会 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習 受講（内藤隆文，山田尚広，加藤真也，石田卓矢，佐藤聖，志田拓頭，田中達也，柴田海斗，鈴木祐介，井元優美，阿部一樹，阿久津駿太，望月啓志，田口怜奈，宮寺友香里，星川昂平，坂口健太，鈴木利昌，見野靖晃）19名
7. 日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師（川上純一，内藤隆文，堀雄史，丸山修治，見野靖晃，八木達也，山田尚広）7名
8. 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師（川上純一，内藤隆文，堀雄史，青野浩直，見野靖晃，石田卓矢，丸山修治，田中紀章，加藤真也，田中達也，佐藤聖，大城隼也，柴田海斗，志田拓頭，山田尚広，八木達也）16名
9. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師（田中紀章）1名
10. 日本医療薬学会 薬物療法指導薬剤師（内藤隆文，八木達也）2名
11. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師（加藤真也，佐藤聖，柴田海斗）3名
12. 日本臨床薬理学会 指導薬剤師（川上純一，内藤隆文，見野靖晃）3名
13. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師（川上純一，内藤隆文，見野靖晃，丸山修治，佐藤聖）5名
14. 日本臨床薬理学会 認定CRC（高井伸彦）1名
15. ICD 制度協議会 インфекションコントロールドクター（八木達也）1名
16. 日本薬剤師研修センター 認定薬剤師（内藤隆文，見野靖晃，田中紀章，大原早織，田中達也，三浦基靖，大城隼也，阿部一樹）8名
17. 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師（川上純一，内藤隆文，青野浩直，山本知広，高井伸彦，加藤文美，丸山修治，見野靖晃，堀雄史，石田卓矢，山田尚広，八木達也）12名
18. 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師（加藤真也）1名
19. 日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士（青野浩直，山本知広，加藤文美，田中紀章）4名
20. 日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士（山本知広，丸山修治，石田卓矢）3名
21. 妊娠と薬情報センター拠点病院業務研修会 受講（堀雄史，大原早織，大城隼也，大澤志保，内田千瑛）5名
22. 日本薬剤疫学会 ファーマコビジランス・スペシャリスト認定（堀雄史）1名
23. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 レギュラトリーサイエンスエキスパート（PV分野）（堀雄史）1名
24. 日本DMAT 隊員（志田拓頭）1名
25. 静岡県DMAT-L 隊員（石田卓矢，大城隼也）2名
26. 日本臨床化学会 認定臨床化学者（見野靖晃）1名
27. 有機溶剤作業主任者 技能講習受講（内藤隆文）1名

28. 普通第一種圧力容器取扱作業主任者 技能講習受講（堀雄史）1名
29. 日本臨床腫瘍学会 がんゲノム医療コーディネーター研修会受講（佐藤聖，柴田海斗）2名
30. 日本循環器学会 心不全療養指導士（阿久津駿太）1名

Q. 施設認定

1. 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師研修施設
2. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設
3. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設
4. 日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）
5. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師研修施設
6. 厚生労働省薬剤師養成事業 実務研修生受入施設

R. 学位申請

1. 井元優美：博士（医学）浜松医科大学（2021年3月）「血液疾患または免疫関連疾患患者における血漿イトラコナゾールの水酸化代謝物と血清クレアチニン値との関係. Associations between plasma hydroxylated metabolite of itraconazole and serum creatinine in patients with a hematopoietic or immune-related disorder」
2. 三浦基靖：博士（薬学）静岡県立大学（2021年3月）「シトクロム P450 活性及び薬物相互作用の評価を目的とした臨床試験法に関する研究 Clinical study for the evaluation of cytochrome P450 activities and drug interactions」
3. 鈴木光路：博士（薬学）静岡県立大学（2021年3月）「頭頸部がん患者におけるトラマドールとその脱メチル化代謝物の光学異性体の血中動態解析に基づく臨床薬理研究. Clinical pharmacology and pharmacokinetics of tramadol and its demethylated metabolite enantiomers in patients with head and neck cancer」

S. 学位

川上純一（薬学）
内藤隆文（薬学）
堀雄史（臨床薬学）
加藤真也（医学）
丸山修治（医療薬学）
見野靖晃（医療薬学）
八木達也（医学）
大城隼也（薬学）
山田尚広（医学）

石田卓矢（医学）

佐藤聖（医学）

志田拓颯（医学）

田中達也（医学）

柴田海斗（医学）

田口怜奈（医学）

星川昂平（医学）

井元優美（医学）

三浦基靖（薬学）

鈴木光路（薬学）

計 19 名

< 文責 > 見野靖晃